

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信

令和7年5月27日 第6号

発行;校長 村上謙一

【第1回学校運営協議会の開催】

5月14日(水)、校長室にて第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会は地教行法に定められたコミュニティスクールの取組で、市内の全小中学校がこの会をもっています。

会長;林重男様(防犯パトロール隊)、以下は委員;中村和義様(交通指導隊)、荒巻敏夫様(人権擁護委員)、緒川睦子様(児童民生委員)、原田利恵様(いちのみや児童館現場管理者)、吉田忍様(読み聞かせ)、田口万里子様(PTA会長)、校長、教頭、教務主任、校務主任の11人体制で、地域に開かれた学校運営に努めているところです。第1回では市教委による委員の任命と、学校教育目標・経営方針、教育課程、年間行事、予算についてのご承認をいただきました。特に子供の主体性を育むことと、そのために必要な4つの力(自分の考えをもつ力、他人を大切にする力、自分の考えを表現する力、チャレンジする力)の育成については、委員の子育ての経験を踏まえた熱い支持をいただきました。

「学校には直接は言いにくいけど、伝えたい」そんなことがありましたら、上記の委員にご相談されるとよいと思います。お申し出の方のプライバシーを守りつつ、お声を学校に届けていただくこともできます。

【60年前の卒業生との再会】

南校舎と中校舎の間にある児童会掲示板。その足下に長年の風雨で角が削られた人面像が置かれています。本校のサポーターのおー



人が「これは60年前、私たちが卒業記念に作ったものですよ。自分で作ったのがこのうちのどれかは忘れてしまったけど。」と教えてくださいました。そういえば、体育館入り口前のざら板の裏側には、設置記念の記名と思われるものがあちこちにあります。歴史は積み重ねられていることを感じます。

本校は来年創立120周年を迎えます。長い歴史をもつ一宮西部小学校は、現在の556名の子どもたちが新しい歴史を刻み、次代に引き継いでいきます。

【運動会の練習に熱が入っています】

5月28日(土)の運動会に向けて、子供たちの練習にも熱が入ってきました。

「自分がつくる みんなの一西小」が今年の



目標です。運動会では、中学年と高学年で練習から子供が号令やお手本の動きを示すなど、「自分たちで」という意識が見

られます。当日は、子供たちが自ら動く姿をご覧ください。ただそれだけでいいと思います。

【チーム担任制の今】



令和6年度は3年生以上の普通学級で毎週水曜日の「チーム担任の日」に取り組みました。7年度は4月から通年で実施しています。去年は

1学級に1人の固定した担任の先生がいましたが、今年はいません。子供たちに「担任の先生は誰？」と尋ねると、「3人いるよ。○先生と、△先生と、□先生だよ。」という返事が返ってきます。「どう、困ったことはない？」と重ねると、「う～ん」とか「ないよ」等の返事が返ってきます。1学期末の学校評価アンケート調査を待たないと全体像は明らかになりませんが、私が声をかける範囲では順調なスタートができています。先生方にとっては、これまであった「自分のクラス」が、「自分の学年」に広がったので、当然戸惑いがあるでしょう。経験のないこと、前例がないことへの取組は不安や戸惑いが伴うのが当然。この取り組みが子供たちの主体性と当事者意識の高まりにつながるよう、みんなで工夫をして前に進んでいます。それにしても、子供たちの順応性の高さ、たくましさには驚かされるばかりです。

